

# 事業報告書

## I. 事業の概要

公益法人として第3期となる平成26年度は、

### 1. 奨学金事業として

- (1) 県内在住20名(内1名は半年分)の高等学校奨学生及び大学院奨学生1名に対し、奨学金を給付した。
- (2) 奨学生同志の交流を深めるため懇親会を2回開催した。
- (3) 日本の古典文化に接する機会として、奨学生を対象に歌舞伎の観劇会を行った。

### 2. 奈良県立橿原考古学研究所へ学術研究の為の書籍を寄贈した。

## II. 事業活動

### 1. 奨学金事業

- (1) 本年度は、新採用の7名及び留学の為休止していた1名を含めて計20名の高等学校奨学生に対し月額3万円、1名の大学院奨学生に対し、月額10万円の奨学金を給付した。

### (2) 懇親会

#### 《第1回》

平成26年8月30日(土) 開催 在学奨学生 15名・卒業生 8名 / 計 23名参加

- ・恒例の行事に加えて、午後からは、現在小学校の教員をしている平成18年度の高等学校卒業生と同年度で前年度まで大学院奨学生であった現在研修医である2人に講演を依頼し、『後輩の君達に伝えたいこと』をテーマに奨学生の人達に語ってもらった。教職についての現状を伝えながら、子供達を教え導くことの意義、また、研修医としての自覚や人との出会いがもたらす貴重な気付きなど身近な先輩の有意義な言葉に全員熱心に耳を傾けていた。

#### 《第2回》

平成27年3月28日(土) 開催 在学奨学生 16名・卒業生 9名 / 計 25名参加

- ・この会は、恒例の行事の後、平成28年度から選挙権年齢を18歳以上に引き上げられる可能性があることから現在の政治問題や社会が抱える環境等の問題について、グループに分かれ話し合った。その後、グループ毎に代表が話し合った結果を発表した。自分達に密接に関わることだけに普段から関心を持つ大切さを皆で認識でき、大変意義深い話合いの時間となった。

(3) 観劇会

|        |   |
|--------|---|
| 観劇会内容  | 京都南座顔見世興行（歌舞伎） 昼の部  |
| 開催日時   | 平成26年12月13日（土） 午前10時半より午後4時   |
| 場所     | 京都河原町四条 南座  |
| 趣旨     | 日本の古典芸術や文化に触れる機会を提供する。  |
| 参加人数   | 高校奨学生 9名 理事 1名<br>※チケットの枚数が限られているため希望者を募った。   |
| 総括     | 参加者全員が初めての歌舞伎観劇で、感想からも得る事が多かった事が窺えることができ、趣旨にかなった会であった。  |
| 参加者の感想 | <p>* 時代や言葉が違って、ちゃんと内容が理解できることに驚きました。感覚みたいなものはつながっているのかなと思いました。初めて歌舞伎を観ましたが、とてもよい経験になりました。</p> <p>* 1つ1つの話でとてもセリフが長く、それを覚えるのはとても大変だと思った。長い時間をかけて練習しているのだと思う。声の出し方が特徴的で、のどの奥の方から声を出している感じがした。声の大小をはっきりつけていた。</p> <p>* 想像と違ってあまりお堅いものではなくて良かったです。</p> <p>* 休憩時間に舞台をセッティングする裏方の人たちを見て、どんな場面でも、必ずそういう人がいて、その人たちがいるから、舞台は成功するのだと思い、表に出ている役者さんももちろんカッコいいが、“縁の下の力持ち”的な役割を担う裏方の人々もまたカッコいいと思った。</p> <p>* 本当に貴重な経験をさせていただき、本当にありがとうございました。事前に送って頂いたあらすじを読んで行けたので、おもしろかったです。花道がすぐ隣で、とても迫力があってときどきしました。はじめてだったけれど、とても楽しかったです。</p> <p>* 今まで歌舞伎というものはテレビでたまに聞く感じだったり、正直興味をもったことのないものでした。自ら行こうと思ったことはありませんでした。今回、このような機会をいただいて、本当にありがとうございました。母も姉もとてもうらやましいと言っていました。間近で役者さんを見させてもらって、とても迫力のあるものが見れました。今年は3年生となるので参加できないものもあるかもしれませんが、また、この機会があれば行きたいです。ありがとうございました。</p> <p>* 少し内容も難しかったけれど、おもしろいところもたくさんあって、本当に貴重な体験をさせていただきました。日本語を聞き取れず、理解するの</p> |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>が難しい場面もありましたが、役者の方々の演技や、歌舞伎独自の音楽にとても魅力を感じました。このような貴重な経験をさせていただき、ありがとうございました。</p> |
|--|---|

## 2. 奈良県橿原考古学研究所へ書籍の寄贈

- ・ 寄贈図書については、同研究所より購入報告書を受け取っている。